

鏡川流域パートナーシップだより No.145 R6.6.4



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

チャット GPT で「ありえないけど面白い」鏡川を発信！



鏡川流域外関係人口講座2期生で東京都在住の川田玄一さんが、ご自身の知識を生かし、チャット GPT を使って記事を作成しています！
「鏡川流域パートナーシップだより」の記事をチャット GPT が読み込むと、「**ありえないけど面白い**パロディ風の記事」に変換されます！
この記事は「パロディだより」として、まちのコイン「ぼっちり」の体験チケットを通じて読むことができます！

川田さんからはいつも熱意あるコメントをいただいています！



鏡川と高知への愛は果てしない！
遊びと学びを融合させて、高知の未来を面白く予測したい！
本家・パートナーシップだよりを新たな視点で楽しんでほしい！

元記事 (パートナーシップだよりNo.133)

パロディだよりNo.133(一部抜粋) ※事実とは異なりますのでご注意ください



チャット GPT を使って記事を作成！

ホタルがホタル夜 ~里山の不思議な夜~
6月1日(土)に開催された「里山歩きとホタルの夕べ in 久重」では、驚くべき現象が観測されました。久重の里山で、ホタルたちがまるでお祭りのように集まり、騒ぐ様子が見られたのです。この光景は「ホタルがホタル(土佐弁で、騒ぐ、ふざけるの意味)」と呼ばれ、地元住民たちの間で話題となりました。



チャット GPT が、記事の内容をもとにイメージ画像を作成！

この夜、ホタルたちは明るく点滅しながら空中で複雑な舞を披露しました。専門家によると、これはホタル同士が特別なコミュニケーションをとっている証拠だとされ、非常に稀な現象です。

さらに不思議なことに、参加者の中にはホタルの声を聞いたと証言する人々もいました。ホタルたちは小さな声で歌い、会話しているかのようでした。これについて、科学者たちはホタルが特別な音波を発する能力を持っているのではないかと仮説を立てていますが、未だ解明されていません。

パロディだよりを読んだユーザーから感想が届いています！

「ありえないけど、絵本を読んでいるかのように映像が浮かびました」
「ほたえる？初めて聞いた土佐弁が気になって意味を調べました！」
「ホタルの季節到来ですね。ほたえる、懐かしい響きの言葉です」

パロディだよりをきっかけに、元記事である鏡川流域パートナーシップだよりを読んでいただき、鏡川流域の取組に関心を寄せてくださる方もおり、鏡川流域への関わり方の幅が広がっています！



川田さんは毎週木曜夜のオンライン交流会に参加し、新作の記事やイメージ画像を披露し、交流会を盛り上げています！今後も新たな視点で鏡川流域の魅力面白く発信してくれることを期待しています！

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！



※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android